

## 理事就任にあたって



独立行政法人 防災科学技術研究所

理事 小中元秀

4月1日付で理事に就任しました。

防災科研は、自然災害から国民の生命・財産を守るという、国に与えられた重要な責務の一端を担う重要な独立行政法人です。この大きな責務を全うするため、平成13年4月から始まる第一期中期計画では、基盤的地震観測網の整備、実大三次元振動破壊実験施設の建設など、防災研究に関わる基盤整備を行うとともに、火山、水・土砂、雪氷などの基盤的防災研究を実施してきました。

ただ、外から見ていますと、少し世の中に人々に対するプレゼンスが小さいと感じられました。各種メディア、イベント、国際シンポジウムなどいろいろな機会を捉え、職員が一丸となって存在感を高める方策を考えていきたいと思っています。

4月から始まった第二期の中期計画は、国全体の第3期科学技術基本計画と重なります。今度の基本計画では、科学技術人材の養成・確保が重要な課

題となっています。防災科研においても、若手・女性研究者が元気の出る研究環境を作っていきたいと思っています。もう一つ、今期の基本計画では、イノベーション振興政策など研究の出口政策をどう強化していくかも課題になっています。防災科研の場合は、地方自治体への情報発信、成果の移転が重要になってきます。ソフト、ハード両面からのスムーズな技術移転のシステム作りが求められています。

私の仕事に対するモットーは「仕事は辛くてしんどくても、みんなで楽しくやろう」です。世の中には真っ黒もなければ、真っ白もありません。黒いものにも、どこかに白い部分があります。その白い部分を見て楽しくやろうという考え方です。楽天家、脳天気なのでしょう。

微力ですが、理事長を補佐して目標に向かって尽力しますので、皆様方のご支援とご協力をお願いできれば幸いです。

